

各支援センターの 令和7年度活動結果について

令和8年3月

千葉県健康福祉部 健康づくり支援課

令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. 県内の地域リハビリテーション支援体制をより強固にする基盤づくりとして、地域リハビリテーション広域支援センターをサポートすること。
 2. 下記を達成するために、人材育成に取り組むこと。
 - ちば地域リハ・パートナーの役割や求める活動について、関係機関と見直しを検討すること。
 - 高次脳機能障害、医療的ケア児等を含め幅広く、個人やその家族・支援者のより良い暮らしの実現を目指し、社会的障壁を減らせるような地域リハビリテーション支援のネットワークづくりとその拡大を図ること
- 令和7年度有事における地域リハビリテーション行動指針策定事業について

【県リハ支援センター】

1. 広域支援センター・県・県リハ支援センターの つながりの強化について

圏域訪問

- 4月14日～5月16日に実施
- 各広域支援センターを訪問して、担当者への挨拶と、年間計画や地域リハ推進に向けた意見交換を実施。

広域支援センター定期ミーティング

- 2ヶ月に1回実施(4,6,8,10,12月)
- 広域支援センターから議題を募り、タイムリーに意見交換をする機会
- 各広域支援センターの課題解決や情報交換に活用

※県健康づくり支援課地域リハ班とは毎月定期ミーティングを実施

2. 人材育成について

地域リハ研修プログラムに基づき、下記2つの研修を開催した。修了証を発行した。

地域リハ導入研修

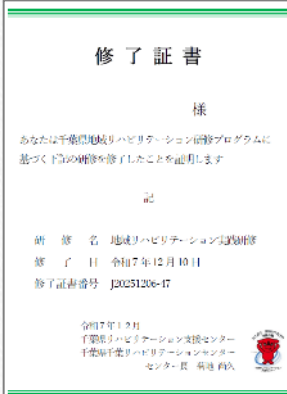
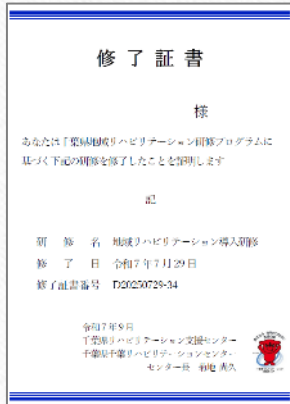
- 7/29 (君津) 11/11 (成田) 1/13 (千葉)
2/ 8 (地域リハフォーラム内で開催)
- 修了者 計162名
- 内容：講義、グループワーク

※有事における地域リハ行動指針策定事業の一環として実施

地域リハ実践研修

- 1日目:12/6 講義・シンポジウム
2日目:12/10(成田)、12/11(船橋)、
12/17(千葉)
- 修了者 49名
- 内容：講義、シンポジウム、グループワーク

※有事における地域リハ行動指針策定事業の一環として実施



2. 地域リハ支援ネットワークづくりとその拡大

- 第19回千葉県地域リハビリテーションフォーラム
- テーマ: 個を支え、地域を変える
ー地域社会に“根ざした”リハビリテーションを考えるー
- 日時: 2月8日 参加者74名
 - 講義 「個別」の次は「地域」へ ～地域リハの基本と千葉の今～
宮澤拓人(千葉県千葉リハセンター)
 - シンポジウム 地域社会に“根ざした”を考える
井手 一茂 氏(千葉大学予防医学センター)
岡田 智恵 氏(なごみの陽訪問看護ステーション)
宮間 恵美子 氏(みやま社会福祉士合同事務所)
司会: 太田 直樹(千葉県千葉リハセンター)
 - ポスターセッション 実践を聞いて、発見しよう! 12演題がエントリー
 - グループワーク 私たちが考える地域社会に“根ざした”活動
進行: 太田 直樹(千葉県千葉リハセンター)



講義



シンポジウム



ポスター



グループワーク



広域支援センターの運営協力

■ 有事における地域リハビリテーション行動指針策定事業 (R6~R8年の3カ年で計画)

R6 行動指針策定に関する基礎知識の啓発と課題抽出

能登半島地震支援者へのヒアリング／地域BCP・連携型BCPの研修
課題調査／課題解決方法の検討

R7 行動指針（案）の作成 行動指針共通編（案）とモデル地域での行動指針地域編（案）の作成

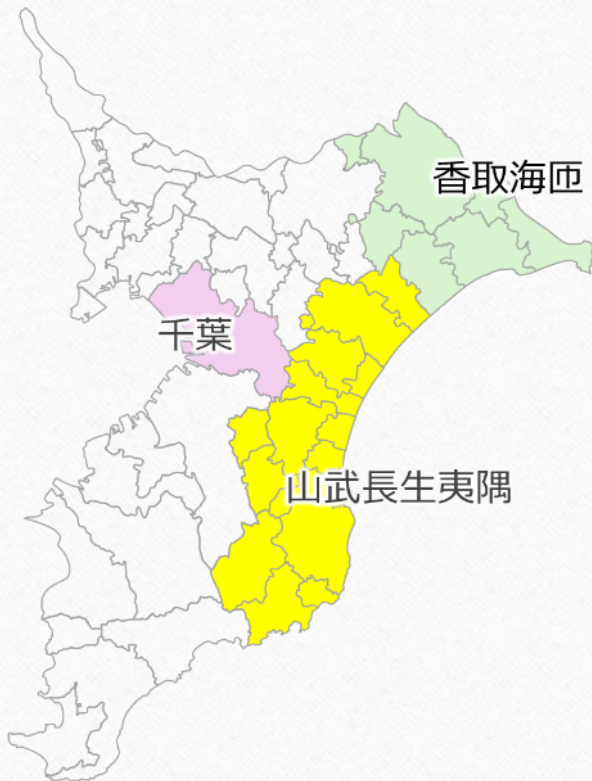
- ・ 行動指針共通編（案）の作成
- ・ モデル圏域の選定と行動指針地域編（案）の検討会
- ・ 共通編、地域編を統合した行動指針（案）の作成

R8 行動指針（案）を元にした訓練の実施と行動指針のブラッシュアップ

シミュレーション訓練実施とそれに向けた検討会等の開催
行動指針（案）のブラッシュアップと完成に向けた整理

(1) モデル圏域選定

大規模地震時の被害予測、過去の被災経験、地域特性を考慮し選定。



(2) モデル圏域での検討会

各圏域の関係者とToDo（すべきこと）を意見交換。
各圏域3回実施。

圏域として

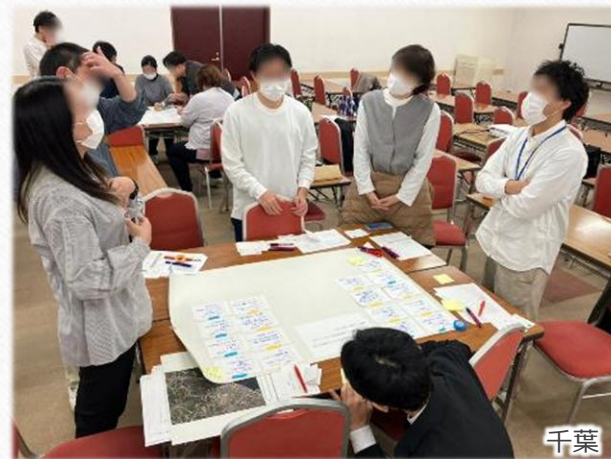
いつ? 平時(普段から) ・ 有事(災害発災時)
どちらか一方

どこで? (場所・場面) ○○会議の場で

誰が? ○○と××が

何を? 市内の訪問リハビリ実施事業所のリスト(名称、住所、連絡先)を

どうする? 作成して、共有しておく



(3) 地域リハ行動指針（案）の作成に向けた取りまとめ

- 意見交換で挙げられた計300個のToDoを全県に共通する項目、各地域の特徴を捉えた項目に整理し、行動指針（案）を作成
- より実効性のある行動指針を作成するために
 - 過去に大規模自然災害への支援経験を有する地域リハ有識者との意見交換を実施
 - 広域支援センターとの意見交換会を開催
- 行動指針（案）の完成と次年度のシミュレーション訓練の実施に向けて、企画・検討を進めている。

行動指針（案） Ver. 1

全県共通の行動指針

グループ1_共通：平時から事業所の職員間で利用者情報や事業所 BCP の共通認識を図り、災害時の支援の優先順位や運用フローを明確にしておくこと

□利用者情報やスタッフの出勤状況の把握と可視化をしている

<取組み例>

- 事業所が、カルテ内で利用者の医療依存度（人工呼吸器、酸素、麻薬等）を記載・更新する体制を整えている
- 事業所が、全職員で利用者の ADL 情報を正しく理解し、最新情報をスタッフ間で共有している
- 事業所が、利用者の住環境・避難場所をカテゴリー分類し、トリアージリストを紙ベースで保管していることを確認する
- 事業所が、スタッフ出勤不可の場合でも継続可能な作業を洗い出し、可視化する

□判断基準や運用ルールを策定している

<取組み例>

- 事業所が、災害レベルに応じた支援の優先順位や特別ルールを決定しておく
- 事業所が、有事の際の「訪問有無」を判断する明確な基準を全職員に周知する
- 事業所が、災害時に何を最優先するかを話し合い、全てのスタッフの共通認識を形成すること
- 事業所が、発災から平時復帰までの運用フローを全スタッフが具体的に想定できるように働きかける
- 事業所が、有事の具体的なアクションをまとめた「To Do リスト」を策定すること

□研修や訓練を通じて情報を浸透させる

<取組み例>

- 事業所が、自施設の BCP（事業継続計画）の内容を全職員で共有し、理解を深める場を設けている
- 事業所が、研修・訓練を通じて、利用者の重要情報を共有し、即座に動ける体制を構築する
- 事業所が、作成した To Do リストを多職種（看護・リハ等）で共有し、役割を確認し合うことを促す
- 事業所が、緊急時に使用する連絡手段を会議等で対話し、確実に周知すること
- 事業所が、スタッフへの連絡網（連絡用アプリ等）を適切に整備・管理すること

令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. ちば地域リハ・パートナーとの協働について
2. 地域課題に対する取り組み支援について
3. 小学生年代への取り組みについて

【千葉地域リハ広域支援センター】

①ちば地域リハ・パートナーとの協働について

協働内容：地域の通いの場、地域ケア会議へのリハビリ専門職の派遣

例) 健康講話

体力測定

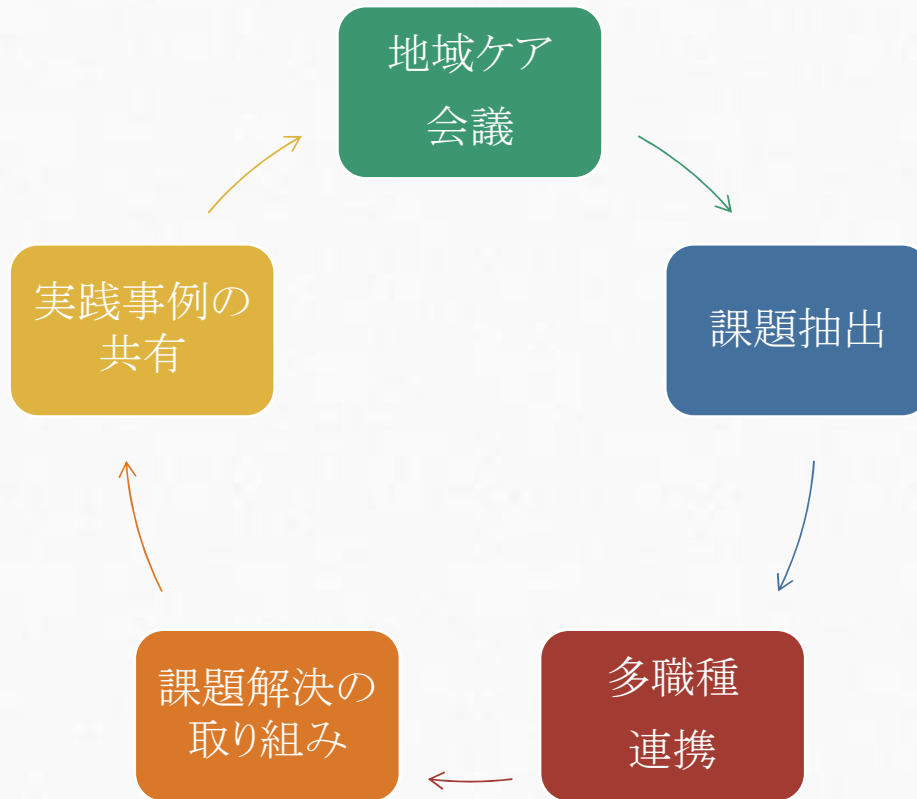
体操指導

地域ケア会議への参加 など

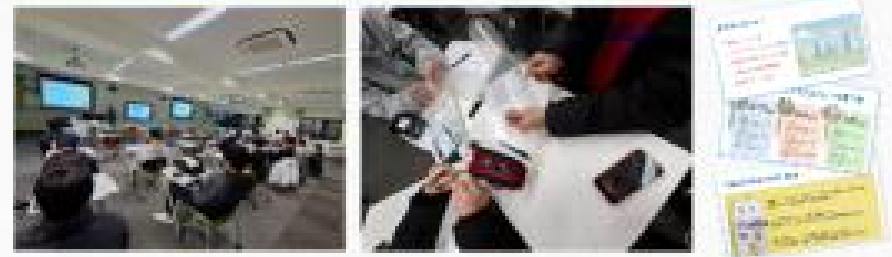
協力施設：前年度14施設⇒今年度16施設に増加

- ・ちば地域リハ・パートナー会議
 - ・新規登録施設への活動案内
 - ・各種活動の見学案内 など
- 情報共有、広報活動により理解が広まった

②地域課題に対する取り組み支援について 地域包括支援センター×大学×広域支援センター



1. 大学での講義
フィールドワークに向けた視点のすり合わせ



2. 千葉市緑区(土気エリア)での
お散歩マップ作製フィールドワーク



③小学生年代への取り組みについて

依頼

1. 地域リハビリテーション出前講座

車いす体験を通じて当事者への接し方や環境について考える



2. アフタースクールでのボッチャ体験会

車いすやランプ（勾配具）も実際に使用し
ボッチャ体験を通じて年齢や障害の有無を
超えた多様性、共生社会の重要性を伝える



令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. 難病支援への関与について
2. 通所型短期集中予防サービス事業C型への協力について
3. 他分野・関係機関との連携の推進について

【東葛南部地域リハビリテーション広域支援センター】

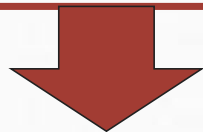
八千代市 通所型短期集中予防サービス事業C型への協力



希望：通所型短期集中予防サービスC型に適する対象者を増やしたい
課題：通所C型の接続困難例あり。包括だけでの身体的妥当性判断が難しく業務負担増

担当課との継続的打ち合わせ・事業設計支援

- ・ 研修参加や体制検討への参画
- ・ 同行訪問の実施
- ・ 地域ケア会議と通所C型事業の連動支援



行政施策への専門職関与モデル推進

項目	内容	担当者	進捗
通所C型事業
地域ケア会議
研修参加
同行訪問

他分野・関係機関との連携拡大

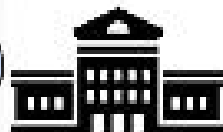
【介護予防事業】

リハ専門職団体

市役所（担当課）



連携



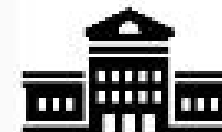
【障害福祉・保健領域】

リハ専門職団体

市役所（担当課）



連携なし



＜保健、障害福祉分野、教育機関との連携＞

- ・ 職域へのフレイル啓発
- ・ 障害福祉サービス事業所への相談支援
- ・ 小学校出前講座や中学生職場体験受入れ

令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. 通いの場活動支援について
2. 地域リハ専門職マッピングについて
3. 出前講座について

【東葛北部広域支援センター】

1. 通いの場活動支援について

- 2024年に新規グループ(Aグループ・Bグループ)を立ち上げし今年度は継続支援を実施

- 2025年 Aグループ 活動の継続支援

年2回 健康度測定・運動指導実施

Bグループ 年8回(予定含む) 健康度測定・運動指導

2. 地域リハ専門職マッピングについて

- 東葛北部圏域 リハ職所属施設の見える化（松戸市）
- 訪問看護ステーションおよび訪問リハステーションに所属するリハ職をマッピング上で検索できるよう検討
- 来年度よりマッピングは当院HPから閲覧し活用してみる予定

3. 出前講座について

- 柏市の中学校から出前講座の依頼あり
- 2学年5クラス(183名)
- 先生とメールと対面でやり取りしてPT・OT・STそれぞれ15分程度で話す
- 学生2名代表者を募ってもらい車椅子介助の体験

令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. 圏域内関係機関との連携強化
2. ちば地域リハ・パートナー登録機関との連携強化
3. 介護予防事業の取組支援

【印旛圏域地域リハビリテーション広域支援センター】

1. 圏域内関係機関との連携強化

- ・ 令和7年度印旛圏域地域リハビリテーション連絡協議会

日時：令和8年1月27日

内容：千葉県地域リハビリテーション体制整備推進事業に関して

令和7年度活動報告、グループに分かれた意見交換

参加：51名（行政職、地域包括支援センター、リハ・パートナー登録機関など）

2. ちば地域リハ・パートナー登録機関との連携強化

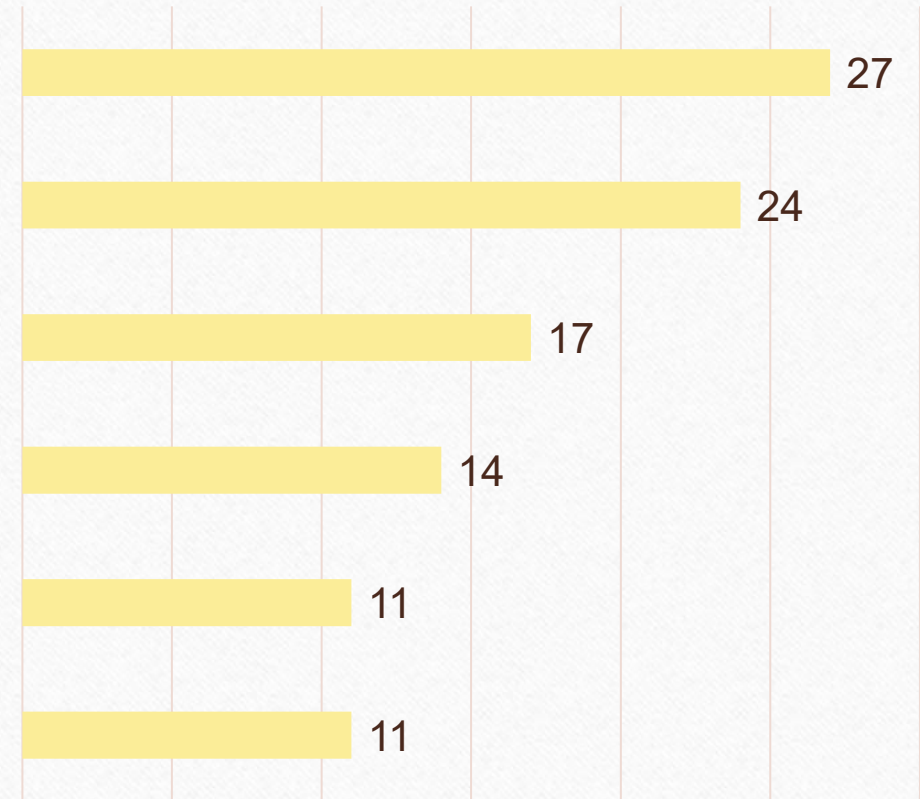
- ・ 令和7年度印旛圏域ちば地域リハ・パートナー会議
- ・ 現場から学ぶ、地域リハビリテーション研修会
- ・ 圏域内行政より依頼を受けた研修会などの周知、協働など

【印旛圏域地域リハビリテーション広域支援センター】

圏域内アンケート結果

- 地域リハ広域支援センターに期待する役割とは -

- ・ 市町の行政、リハ・パートナー等地域の関係機関をつなぐ役割
- ・ 関係機関を顔が見える関係づくりとなるきっかけを作る役割
- ・ 市町の事業など専門職の立場から人的支援を行う役割
- ・ 地域リハビリテーションに関する各種情報を周知する役割
- ・ 専門職など人的支援が必要な際に人材派遣の調整を行う役割
- ・ 各種研修会、勉強会といった人材育成を図る役割



対象：圏域内医療・福祉・介護職、行政関係者33名

【印旛圏域地域リハビリテーション広域支援センター】

3. 介護予防事業の取組支援

- 地域ケア会議への参加や周知
- 介護予防出前講座
- 通いの場へのリハ職派遣など
- 歩いて地域見守り活動をしよう
(地域包括支援センター主催)



【印旛圏域地域リハビリテーション広域支援センター】

令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. 短期集中予防サービスに関する事業協力・情報発信について（重点活動項目）
2. 香取海匝圏域内のリハ資源再調査について（重点活動項目）
3. 地域リハビリテーション出前講座について

【香取海匝広域支援センター】

1. 短期集中予防サービスに関する事業協力・情報発信について

生活期リハ活動支援班 令和7年度第2回研修会

- テーマ:リハ職の「強み」で暮らしを支える
～通所Cの事例から自立支援を語り合おう～
- 日時:令和8年2月14日(土)15:00～16:30
- 会場:旭中央病院 しおさいホール
- 対象:保健・医療・介護・福祉・行政関係者
- 内容:短期集中予防サービスの概要
事例報告(2事例)
*それぞれの同行訪問・通所Cを担当したリハ職計4名から報告
総合討論



2. 香取海匝圏域内のリハ資源再調査について

- 調査対象：香取海匝圏域内でリハビリテーション専門職が在籍していることが確認された医療・介護施設（103施設）
 - 調査方法：Googleフォームへの回答、またはアンケート用紙の返信
 - 調査項目：対応職種、対応領域など
 - 回答のあった施設数：55施設（回答率：53%）
-
- 結果は入院リハ・外来リハ・訪問リハ・通所リハ・施設入所・通所介護に分類してそれぞれ一覧を作成
 - 香取海匝地域リハビリテーション広域支援センターのHP内で閲覧可能

3. 地域リハビリテーション出前講座について

- 日時: 2025年10月23日(木)
13:00-14:40
- 対象: 旭市立干潟中学校 2年生50名
- テーマ: ひとの「したい生活」を支える
リハビリテーション専門職の仕事
- 内容: 講義
職業体験
質疑応答・まとめ



講義



PT: 立ち上がり・バランス
練習の体験



ST: 嚥下体験・ジェス
チャーゲーム



OT: 片手で着替える

令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. 対話による「地域を知る」取り組みについて
2. ちば地域リハ・パートナーとの協働促進について
3. 「したい生活」を実現できる地域社会づくりについて

【山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター】

対話による「地域を知る」取り組みについて

- ・ 夷隅保健所難病講演会・交流会（2025.11.14）

講演「自宅でできる簡単なリハビリをしてみましょう」

意見交換

- ・ 意見交換会（2025.11.28）

講演「その人らしい暮らしにつながる環境調整」

意見交換「その人らしい暮らしにつながる環境設定を推進するには」

「多職種でもっと話し合う時間を作る必要があると感じた」

「人を知ることからやはり色々始まると改めて思った」

ちば地域リハ・パートナーとの協働促進について



地域リハビリテーション勉強会(2025.8.22)
講演「高次脳機能障害 暮らしの自立に向けた支援」
～生活版ジョブコーチ支援の考え方と実践～
事例検討会「高次脳機能障害・認知症」



地域リハビリテーション出前講座(2026.2.13)
対象:千葉県立大原高等学校2年生13名
内容:リハビリテーション専門職の仕事内容・やりがい
リハビリテーション体験
介護業務に従事する人のための腰痛予防と福祉用具の活用
自助具の活用

「したい生活」を実現できる地域社会づくりについて

事業内容	派遣件数(昨年度件数)
サービス・活動C	63 (80)
通いの場	67 (52)
同行訪問	29 (15)
地域ケア会議	23 (32)

令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. 福祉機器の体験会について
2. ボッチャ活動の広がりについて
3. 協業の広がりについて

【安房 支援センター】

限界集落(げんかいしゅうらく)

人口の50%以上が65歳以上、
共同生活を維持することが限界に近づきつつある集落のこと

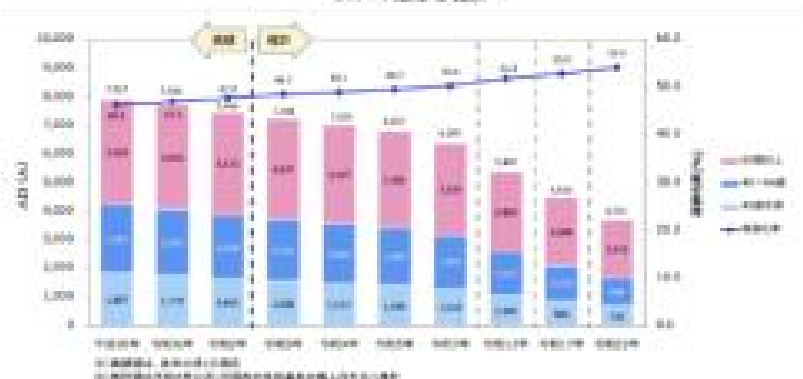
名称	定義	内容
存続集落	55歳未満、人口比50%以上	跡継ぎが確保されており、共同体の機能を次世代に受け継いでいける状態。
準限界集落	55歳以上、人口比50%以上	現在は共同体の機能を維持しているが、跡継ぎの確保が難しくなっており、限界集落の予備軍となっている状態。
限界集落	65歳以上、人口比50%以上	高齢化が進み、共同体の機能維持が限界に達している状態。
危機的集落	65歳以上、人口比70%以上	9軒以下、高齢化が進み、共同体の機能維持が極限に達している状態。
超限界集落	特に定義なし	特に定義はないが、約9軒以下、限界(危機的)集落の状態を超え、消滅集落への移行が始まっている状態。
廃村集落	1軒2名以下	超限界集落の状態を超え、残り1軒となり、集落の機能が完全に消滅した集落の状態。
消滅集落	人口0	かつて住民が存在したが、完全に無住の地となり、文字どおり、集落が消滅した状態。



出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

安房地域の人口予測（2040年）

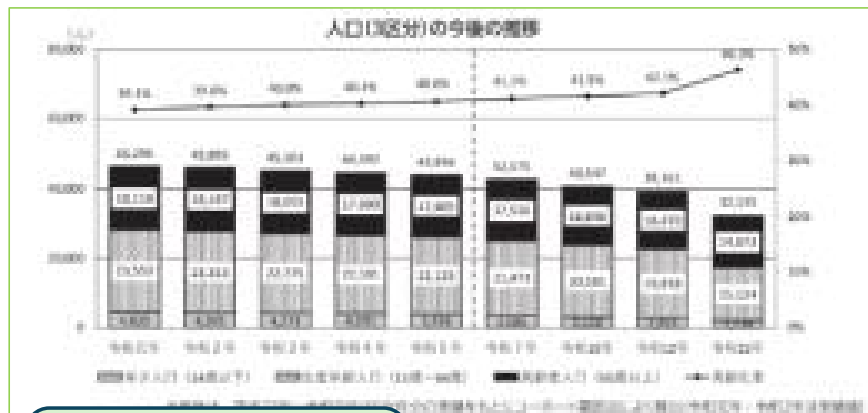
人口の推移と推計



鋸南町

高齢化率 54.2%
人口 3715人

人口(区分)の今後の推移



館山市

高齢化率 46.3%
人口 32,135人

高齢者人口・介護施設定員数の推移

住民基本台帳人口等による高齢者人口の推計を基に、高齢者の社会参加（ボランティア活動）の増加に伴って、2025年以降は高齢者人口の増加が予想されます。

人口の推移と推計



南房総市

高齢化率 54.2%
人口 12,084人

高齢者人口の推移



鴨川市

高齢化率 41.3%
人口 24,886人

リハビリテーションマインドをベースに

地域づくり

だれにとっても過ごしやすい
地域の構築を図っていく。

リハ資源の活用

様々な場面でリハ技術を
活かした支援が
受けられる地域を構築する。

リハ連携の強化

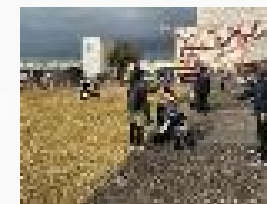
様々な場面での多職種での協業して
リハビリテーションの実現に貢献する

障害があっても、なくても
幸せに過ごせる地域を目指して、活動しています

福祉機器の体験について

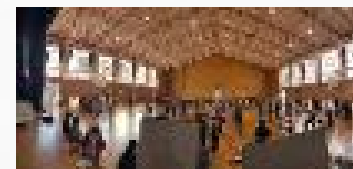
- 移動手段の体験会
 - 半日で、4か所開催を実施。
- コミュニケーション機器研修
 - 難病支援センターと共催にて実施
- 南房総リハビリテーション・ケア文化祭
 - 機器展示・紹介 16社

実施会場（体験会・説明会を4会場で開催）



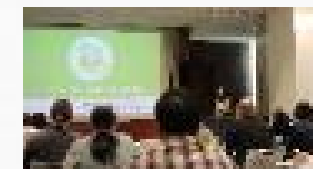
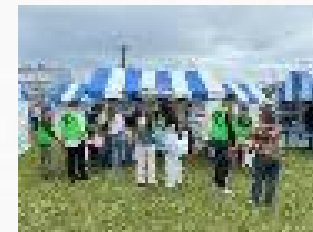
ボッチャ活動の広がりについて

- シニアレジデンス居住者と小学生の交流
- 同じ地区のサロン利用高齢者と小学生が交流
- 精神障害者と地区社協の交流会
- 市内の小学生が集まったの大会
- 小学6年生が学区の中学校に集まったのボッチャ交流会
(インフルエンザで中止)
- 地域の理学療法士同士の交流会
- 地元の専門学校生・障害者・高齢者・小学生が混ざったのボッチャ大会
(南房総リハビリテーション・ケア文化祭)



協業の広がりについて

- 教育
 - 小学校、中学校への出前講座
- イオン
 - 空き店舗を利用したの高齢者・障害者の作品展
- 社会福祉協議会
 - 災害イベントを共催
- JRAT
 - 九都県市防災訓練に参加
- 聴覚障害者協会との協力
 - デフリンピックの紹介
- ミライロからの講演
- 地域のセンターとの協力
 - 高次脳機能障害支援普及事業、難病疾患支援センター



令和7年度第3回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和7年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. きみフェス！！2025について
2. 君津地域リハ行政意見交換会について
3. 小児連携の会 コアラの会 研修会

【君津地域リハビリテーション支援センター】

住民に対する健康増進・介護予防などの取り組み支援 きみフェス！！2025

令和7年 9月27日(土) 参加者 138名
 テーマ:認知症の予防～小さなことから始めよう～

講演 15:00～16:20

- ①作業療法士 講師:訪問看護ステーション花くじら 浦部 智章先生
 内容:認知症を予防する暮らし方
 ～生きがい・役割を持つ大切さ～
- ②医師 講師:君津中央病院耳鼻いんこう科 関田 恭子先生
 内容:認知症と難聴

体験ブース 13:00～15:00

講演に関連した健康チェック:4市の行政担当者による地域支援事業
 薬剤師によるお薬相談
 認知症認定看護師による個別相談

毎年恒例の健康チェック:PT・OT・ST・Ns・管理栄養士

がんに関するブース:がん診療連携拠点病院より

災害リハに関するブース:君津圏域PT・OT・ST連絡協議会 災害部

きみフェス!! 2025
 認知症の予防
 ～小さなことから始めよう～

9月27日(土) 13:00～16:30
 君津中央病院(2階・4階)

主催: 君津圏域PT・OT・ST連絡協議会
 協賛: 君津中央病院

内容: 認知症予防セミナー、健康チェック、お薬相談、個別相談、がん診療連携拠点病院より、災害リハに関するブース

お問い合わせ: 093-422-1111

連絡協議会の開催を通じた連携支援体制の構築

君津地域リハ行政意見交換会

4市高齢者担当課の方との意見交換会を実施

第1回 令和7年7月31日(木) 16:00-17:00

- i) 地域リハ広域支援センターの役割、現在の事業について
- ii) 保健事業と介護予防の一体的実施の状況について
- iii) サービス活動Cの現状について
- iv) その他

第2回 令和8年1月28日(水) 15:00-16:30

- i) 生活支援体制整備事業について
- ii) その他

資源が少ない領域への支援体制の構築

小児連携の会 コアラの会 研修会実施

令和7年12月14日(日) 10:00-11:30

テーマ:「摂食嚥下機能の正常発達と

発達期障害児者への対応」

講師:野本たかと先生

(日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座教授)

参加者:84名

(医療関連施設、訪問看護ステーション、市役所、

保育園・幼稚園、児童発達支援センター、児童発達支援事業所、こども園、放課後等デイサービス、

保育所等訪問支援、障害者通所施設、障害児相談支援、基幹相談支援センターなど)

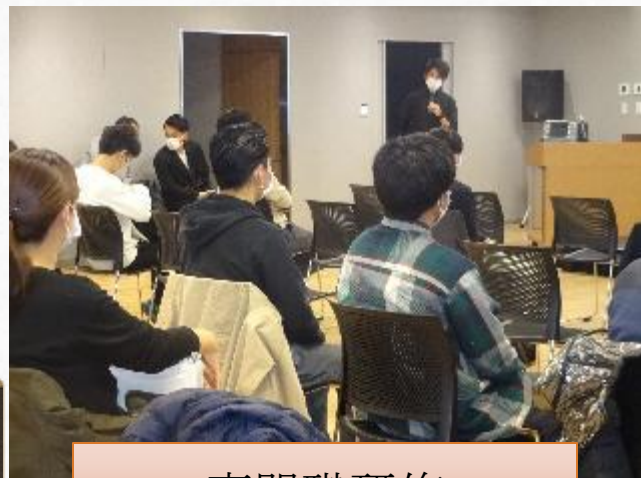
令和7年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会（令和8年3月17日（火））

「各支援センターの今年度の活動結果について」

1. 地域協働での研修会について（専門職研修・労災病院との研修・久野先生の研修）
2. 市役所からの委託研修会について
3. 資源の少ない領域での連携について（療育分野）

【市原支援センター】

地域協働での研修会について(専門職研修・労災病院との研修・久野先生の研修)



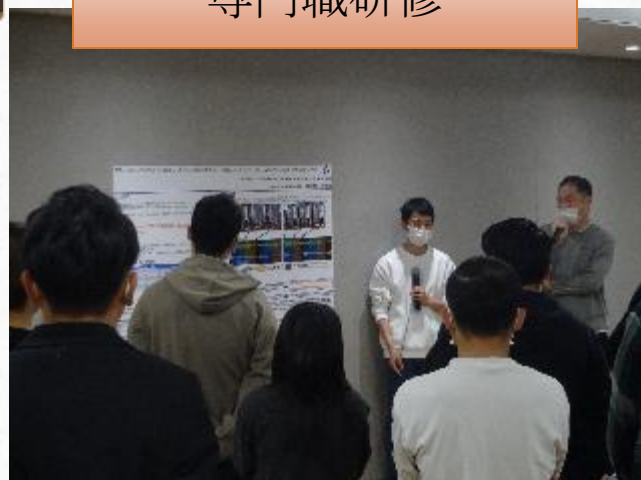
専門職研修



労災病院FLS研修



障害は、「どこ」にある



市役所からの委託研修会について



令和7年度 市原市在宅医療・介護連携推進に係る研修会
 主催：市原市共生社会推進課 企画・運営：市原地域リハビリテーション広域支援センター

各回参加無料
 どなたでもご参加いただけます。

大切な人といつまでも
 自宅で生活するために

**リハビリ専門職といっしょに考える
 これからの在宅介護のカタチ**

①リハビリ専門職が教える負担の少ない介護のコツ
 協力：株式会社タカサ、パラメディカル株式会社

②これからの在宅介護と介護技術の活かし方
 ※介護方法の実演を行いますので、動きやすい格好でお越しください。

申し込みはコチラ
 又はお電話です！

令和7年6月17日(火) **南総** 地区
 13:30 ~ 15:00
 南部保健福祉センターなのほな館

五井 地区 令和7年9月12日(金)
 10:00 ~ 11:30
 ウエルコミ(ウエルツ市原国分寺台店)

令和7年11月12日(水) **姉崎** 地区
 10:00 ~ 11:30
 姉崎保健福祉センターアネッサ

ちはら台 地区 令和8年1月30日(金)
 13:30 ~ 15:00
 ちはら台コミュニティセンター

お問い合わせ：市原地域リハビリテーション広域支援センター
 ☎ 080-8050-2474 ✉ ichiharacbr@chi-kikun.com



資源の少ない領域での連携について(療育分野)

